

総合的な学習の時間

語り合おう！これからの自分、未来を ～地域の先輩から学び、自分の夢を描こう～

高島町立亀岡小学校 6年

1. 実践のねらい

これまで、人とのつながりや地域とのかかわりの大切さを実感してきた。今年度は自分や友達の家族、地域の先輩や地域で働いている人々に目を向け、それらの人とのかかわりの中から、いろいろな職業があることや働くことの意義や大切さ、生き方について学ばせたいと考えた。

自分のよさや特徴と関連付けながら職業調べをすることで、今まで知らなかった職業に出会い、その職業に就くために今の自分に足りないものを見付ける中で、自分の生き方を主体的に見いだすことができるのではないかと考えた。自己理解を深め、将来の夢や目標に向かって積極的に行動するための基盤を築けるようになることを期待して、この単元を設定した。

身につけたい力

○将来の夢や職業について考え、働く人の話を聞くことで、学びと社会・仕事のつながりを理解し、今や将来の生き方・進路を考えることができる。(知識・理解)

○先輩や卒業生を通して、学びと社会のつながりを理解し、地域の未来や自分の生き方・進路を考えることができるようになる。(思考・判断・表現)

○亀岡小学校及び亀岡地区に対する自分の思いや考えを、目的や意図に応じて方法を工夫して伝えることができる。(思考・判断・表現)

○地域への思いや願いを見つめ直し、よりよい未来を考え、地域の一員として主体的に参加しようとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

○将来の夢の実現に向けて課題を見つけ、主体的に努力しようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

2. 実践の概要

- 将来の夢や職業について考え、自己理解を深める。
- 友だちとの交流や職業理解を通して、働くことの意味や生き方について学ぶ。
- 地域の講師による講話や交流から、多様な仕事観や価値観に触れる。
- 将来像とその実現に向けた行動を具体化する。
- 国語科と関連付けてスピーチとしてまとめ、発表と振り返りを通して今後の目標を明確にする。
- 自分の夢と地域とのつながりを考え、地域との関係を捉え直す。
- 相互評価と単元の振り返りを行い、今後の目標を明確にする。

3. 授業の実際（中心活動・国語との関連）



「全盲ハッピーマン」こと大平啓朗さんを招いて講演会と交流会を実施した。「たった一度の人生をどう楽しむか」「障害は自分の個性であり強み」「人のせいにしない」「好きを続け、夢中になれることが大事」「失敗は何度してもよく、最終的に成功につながれば失敗ではない」といった大平さんの言葉を受け取った。その力強いメッセージは、子供たちの心に深く響き、自分の生き方を前向きに見つめ直す貴重な機会となった。

果樹園経営、自衛隊、美容師、絵本作家、臨床心理士として働く地域の方々から直接話を聞き、それぞれの仕事に込めた思いややりがいに触れた経験は、子供たちが自分の将来を主体的に考え、人生を自ら切り拓いていこうとする意識を高める貴重な機会となった。



地域の大先輩である近野照彦さんから、これまでの人生や仕事、夢についてお話を伺った。「人との出会いが最大のチャンス」「自己表現することの大切さ」「あと十年しっかりと勉強することが大事」など、近野さんかのメッセージを受け取り、自分の将来や生き方を考える貴重な機会となった。

校区内にある介護事業所の竹とんぼさんにお伺いして、職員の皆様から介護の仕事についてのお話を聞いたり、利用者の皆様と実際に交流したりして、介護の仕事を体験した。利用者の方々からの感謝の言葉を通して、自分から進んで関わる大切さや人の役に立つ喜びを感じることができた。



6年間の歩みを振り返り、自分が成長したり変わったりしたことを、授業参観「感謝の会」で保護者に伝えた。相手意識をもったスピーチ活動を通して、表現の工夫を学ぶとともに、キャリア教育での学びを自分の将来や生き方と結び付けて考える姿が見られた。

4. 成果と課題

地域の先輩という身近な存在から直接話を聞くことで、職業や生き方が具体的なイメージとして捉えられ、学習が「自分事」になったことが、主体的な学びにつながったと考えられる。また、国語科の言語活動と結び付けたことで、思考の整理と自己表現の質が高まった。一方で、職業理解が講話中心となったため、体験的活動の充実が今後の課題であるが、2月後半の学校運営協議会で、6年生児童と地域の大人が、共に学校や地域の課題解決に向けて話し合うことで、それぞれの立場や役割を理解し、学校や地域をよりよくするための当事者意識を高める活動を予定している。今後は、職場体験や地域の方との直接体験を関連付け、より実感を伴ったキャリア教育の充実を図りたい。実践後の振り返りでは、「仕事には大変なこともあるが、やりがいがあることが分かった」「将来について前より具体的に考えられるようになった」といった記述が多く見られた。特に、これまで自分の意見を表現することに消極的であった児童が、「〇〇さんの話を聞いて、△△になりたいと思った」と自信をもって発表する姿が見られた点は、大きな成果である。